

東蟹谷地区 意見交換概要

日時 令和4年8月31日(水)18:58～20:23

場所 東蟹谷公民館

出席 42名

No.	発言要旨	市長回答要旨
1	地球温暖化により、せいぜい32～33℃だったのが、最近では35℃。世界的な規模で政策が為されているが、カーボンニュートラルについて、どういう風にしていこうと考えておられるのか。	令和3年12月に、ゼロカーボンシティ宣言を行った。担当課を含めて、協議しているところである。太陽光発電が一番なじみやすいと思っているが、パネルが雪でつぶれて放置され、環境によくないという意見もある。しっかりと進めてまいりたい。
2	満足度調査ということで、ウェルビーイングを高めることに民間も悩んでいる。新田知事が6つの戦略を出されている。笑う人口を100万の10倍にして、Uターンを増やすとあるが、連動した政策は小矢部にあるのか。また、市職員がウェルビーイングをどうやってなされていくのか。	関係人口1,000万人に連動した施策としては、ハード面よりもソフト面だと思っている。SNS等を使って、情報発信に取り組みたい。職員に対しては、風通しのよい職場にするよう日頃から言っている。
3	農業関係の女性団体の方から、「街なかで死んでいない。」と言われてうれしかった。メルヘン建築は、市は手放したくないかもしれないが、小松市には小学校をリノベーションして泊まれるようにした事例がある。高齢者・障害者が働ける福祉施設がほしい。	メルヘン建築は、負の遺産とは思っておらず、活かしていきたいと思っている。保育園については、7つを2つに統合した。国の補助金を活用したが、それを使うに当たっては、残った施設を解体するか売却するかということになっている。地区で活用したいということであれば、協議いたしたい。
4	3、4組の方が、住みよいと言われ、こちらへ移住して来ている。一部を取り上げて人を増やそうとするのではなく、トータルで考えなければいけない。文教地区であると言われているが、どうやって盛り上げていくか考えていただきたい。	東蟹谷地区は、まさに文教・スポーツの拠点地であるという過言ではないと思う。インターがあるので、物流の拠点でもある。利便性を訴えて、企業誘致にも取り組んでいきたい。
5	駅前のAコープがなくなって、病院が建設中だと思う。駅前が寂しくなり、若い人が行く店がない。どのような施策があるのか、教えていただきたい。	石動北口開発事業ということで、企業誘致に取り組んでおり、デベロッパーと協議を進めているところである。農協会館も解体されるので、一体的に整備できればよい。最近、空き家を改修するなど、14件の新しい店が補助を利用して出店されている。Aコープの跡地にそれに近いものを誘致できるよう、職員一同取り組んでいるところである。